

■施設の特徴

(地域や福岡市の魅力向上に資する機能や取組み)

豊かな緑の創出：緑化面積約17,000㎡（敷地面積の20%超）

- 一人一花運動と連携し、立体的で色鮮やかな花壇を配置したフラワーパークや、様々な木々を配したフォレストパークなど、緑豊かでゆとりある空間を確保 等



多機能な9つのパーク（広場）：広場面積約38,000㎡（敷地面積の40%超）

- 屋上に200m陸上トラックやテニスコート、フットサルコートなどを設け、健康づくりや幅広い世代が交流できる空間を確保
※スポーツパークなどは那珂中学校の部活動や地域のイベント等で利用可能 等

福岡・九州の魅力向上：九州初・福岡発をはじめとした多彩なコンテンツ

- キッサニア福岡（職業体験）、ガンダムパーク福岡（実物大Vガンダム立像）、MIFA Football Park福岡、福岡おもちゃ美術館、フードマルシェ（福岡九州の食材集積ゾーン）等

地域の魅力あるまちづくりへの貢献

- 周辺地域や竹下商店街などの周辺施設と連携したイベント等の開催 等

地域防災力の強化

- 災害発生時の避難場所、支援物資供給拠点 等

公共交通の利用促進

- JR竹下駅、西鉄大橋駅、福岡空港等とを接続するバス路線の新設 等

感染症対応シティへの貢献

- 非接触注文・決済システム、駐車場チケットレス化、エレベーターへの非接触ボタンの実装 等

脱炭素社会実現に資する取組み

- 再生可能エネルギー化の推進（共用部使用電力のグリーン化※、太陽光パネルの実装） 等
※グリーン化とは、非化石証書等を利用して使用電力を実質的に再生可能エネルギーとすること

【参考】これまでの経緯

昭和43年9月	青果市場 業務開始
平成28年2月	アイランドシティへの統合移転により青果市場閉場
平成28年4月～7月	熊本地震被災地への支援物資拠点として活用
平成29年9月	「青果市場跡地まちづくり構想」策定
平成30年1月	公募開始
平成30年7月	事業予定者決定・公表
平成31年3月	土地建物引渡し
令和2年11月	着工
令和4年4月25日	グランドオープン